

所属・氏名（ 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 氏名：加藤 茂幸 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 3次元有限要素モデルを用いた脛骨後方傾斜角による大腿骨挙動シミュレーション《筆頭論文》	単著	2024年	日本スポーツ整形外科学会誌	膝関節前十字靭帯損傷のリスクファクターの一つである脛骨後方傾斜角を有する3次元有限要素モデルを構築し、1200Nの荷重を加えたときの膝関節動態をシミュレーションで可視化した。 (p5-6) (加藤茂幸) 「データ収集および論文執筆担当」
2 (学術論文) 三次元有限要素モデルを用いたジャンプ着地動作における関節内のストレス状況の可視化《筆頭論文》	共著	2023年	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌	本研究は片脚ジャンプ着地動作の解析と三次元有限要素モデルを組み合わせてシミュレーション解析を行い、動作中の関節内の靭帯および半月板へのストレス状況を算出した。 (p106-107) (加藤茂幸、浦辺幸夫、白川泰山) 「データ収集および論文執筆担当」
3 (学術論文) 膝前十字靭帯再建術後スポーツ復帰した大学スポーツ選手の3種類のジャンプ着地の比較《筆頭論文》	共著	2022年	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌	本研究ではACL再建術後スポーツ復帰した選手を対象に両脚ジャンプ着地(CMJ)、片脚ジャンプ着地(SCMJ)、ホップ動作(HOP)時の下肢の非対称性について検討した。 (p156-157) (加藤茂幸、浦辺幸夫) 「データ収集および論文執筆担当」
4 (学術論文) 膝前十字靭帯再建術後スポーツ復帰した選手の両脚着地タイミングの非対称性について《筆頭論文》	共著	2021年	Journal of Athletic Rehabilitation	本研究はACL再建術後スポーツ復帰している選手のジャンプ着地動作時の床反力および屈曲角度、着地タイミングの非対称性について検討した。ACL再建群のジャンプ着地動作の各測定項目に非対称性を認めた。 (p21-26) (加藤茂幸、浦辺幸夫、白川泰山) 「データ収集および論文執筆担当」
5 (学術論文) 3次元有限要素モデルを用いた膝関節スポーツ外傷発生シミュレーション:前十字靭帯損傷に伴う半月板損傷および内側側副靭帯損傷の例《筆頭論文》	共著	2020年	Journal of Athletic Rehabilitation	本研究は外傷受傷時の膝関節のキネマティクスおよび角速度を反映させ、関節角度の経時的な変化に伴う内側側副靭帯および外側半月板、前十字靭帯への負荷を視覚的に示した。 (p33-37) 加藤茂幸、永山則之、浦辺幸夫、白川泰山 「データ収集および論文執筆担当」

令和 7年 5月 16日 現在